

## 第 2 回 『花粉症意識・対策実態調査』

全国 7 エリア、20～50 代の「花粉症」(※)男女 1,600 人に聞く

※『「花粉症」と自覚している」という質問に「はい」とお答えになられた方。

アサヒ飲料株式会社

アサヒ飲料株式会社(本社 東京、社長 菊地史朗)はこのほど、現代人の花粉症に対する意識と実態を探るため、第 1 回に引き続き、第 2 回「花粉症意識・対策実態調査」を実施いたしました。

この調査は、“現代病”ともいわれ、全国で多くの方が悩まされている「花粉症」に対し、年代別、エリア別、または症状別に、どのような意識・対策の違いがあるのかについて、全国 7 エリア、1,600 人を対象に調査を実施、その声を集計したものです。

アサヒ飲料では、花粉症に効果があるといわれている有効成分「メチル化カテキン」を多く含むことで注目されるお茶品種「べにふうき」の研究を、2004 年以来、継続的に進めており、本調査はその一環として実施するものです。

### <<トピックス>>

- 花粉症患者は全国で約 5,500 万人と推定。  
そのうち約 24.0%が 5 年以内に花粉症に。毎年約 443 万人がデビュー!?
- 現代人の「花粉症対策」は、「マスク」「市販薬」「処方薬」が上位 3 項目。  
2012 年に向けた今後の注目対策は「空気清浄機」と「お茶・食品」
- 花粉症対策にお金をかけている人は全体の 80%。また、その金額の平均は 2,308 円/月。  
市場規模は 1,015 億 5,200 万円(5,500 万人×80%×2,308 円)と推計!
- 花粉症対策には「5 段階のレベル」が存在!  
複数の対策法を合わせて実践することで高い効果が期待できるようです。
- 花粉症がづらいシーンは、「就寝前～就寝中～起床後すぐ」。  
春の快適生活のポイントは、1 日のスタートである「朝」がカギ。「朝快適法」に注目!?

<お客様からのお問い合わせ先>

アサヒ飲料株式会社 お客様相談室 : フリーダイヤル:0120-328-124

アサヒ飲料 ホームページアドレス : <http://www.asahiinryo.co.jp>

## 第2回『花粉症意識・対策実態調査』の5つのポイント

花粉症自覚者は全国で約5,500万人と推定。  
その内約24.0%が5年以内に花粉症に。

今回の調査によると、**花粉症の「自覚症状者\*1」は43.4%、「花粉症有症者\*2」は34.6%。**  
2011年9月の日本の総人口1億2,777万人から推計すると、**約5,500万人が花粉症自覚者と推定。**

\*1: 医学的な「花粉症」の有無ではなく、『自分は花粉症であると思う』という自覚者。

\*2: 花粉症に関する以下の条件にひとつでもあてはまる「重症」に該当する人を対象とする。

(1日のくしゃみの回数が11回以上/1日の鼻汁の回数が11回以上/鼻閉が非常に強く、口呼吸が1日のうち、かなりの時間ある)

また、花粉症有症者のうち「5年以内に発症した」という人は24.0%。

「1年以内」に限定すると8.0%、**約443万人が毎年“花粉症デビュー”をしている**と推定されます。

現代人の「花粉症対策」は、「マスク」「市販薬」「処方薬」が上位3項目。  
2012年に向けた今後の注目対策は「空気清浄機」と「お茶・食品」!

現代人の花粉症対策で「行ったことがある」という上位3項目は「マスク等を身につける」71.4%、  
「市販薬を使用する」60.1%、「病院での処方薬を使用する」44.6%。

今後行ってみたい対策として、**実施意向が高い(興味があり、実践してみたい対策)注目の対策法は「空気清浄機」77.7%、「お茶を飲む」75.4%。**

「花粉症対策」にお金をかけている人は全体の80%。  
その金額の平均は「2,308円/月」!

花粉症にお金をかけて対策を実践している人は、「花粉症自覚症状者」全体の80%を占める。  
また、その花粉症対策に用いている金額を**月当たり平均を算出すると、2,308円。**

この対策金額は自覚している症状の重さに比例し、

自覚症状のレベルごとに**「軽症…1,590円/中等症…1,908円/重症…2,869円」と上昇。**

花粉症対策の「5段階のレベル」。  
複数の対策法を合わせて実践することで、高い効果が期待できます。

花粉症有症者には、**5段階の対策法レベルが存在。**

①マスクなど ②+市販薬レベル ③+ライフスタイル改善 ④+飲料・食品 ⑤+病院での治療  
自覚している症状が重い人ほど、高いレベルの対策法をとっていることが分かる。

花粉症が辛いシーンは、「就寝前～就寝中～起床後すぐ」  
春の快適生活のポイントは、「朝快適法」!

花粉症有症者にとって最も辛いシーンは睡眠の前後に集まっていることが判明。

**1日のスタートである「朝」の“朝快適法”**が、その日1日を快適に生活するためのポイント。

## 1. 年々増加する「花粉症有症者」ー2012年はさらに多くの人が花粉症に？

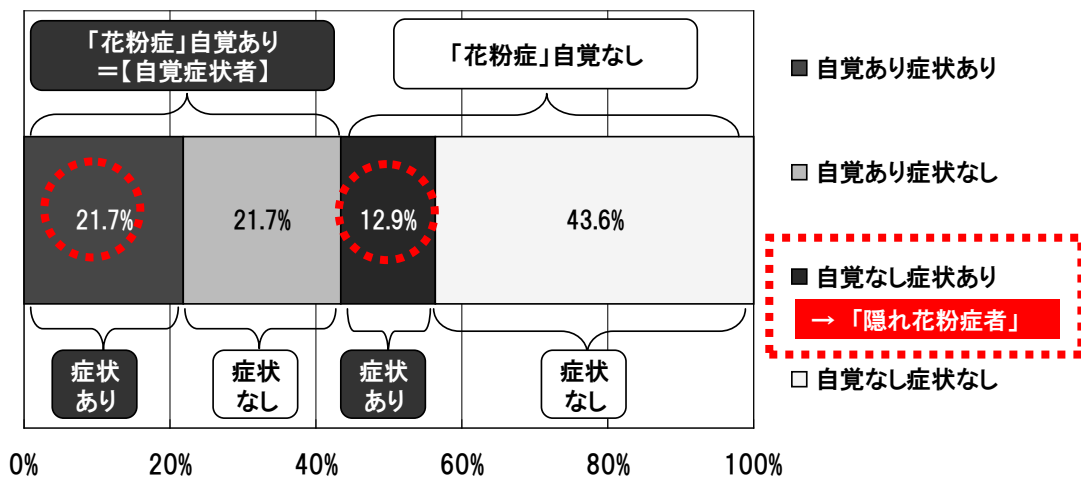
一言で「花粉症」と言っても、症状の違いやその重さなど、その人それぞれ違いがあります。

そのため、症状が軽い場合などは、「自分は花粉症では無い」と思っている人もいます。

今回の事前スクリーニング調査(N=10,463)によると、「自分は花粉症である」と自覚している人(=花粉症自覚症状者)は全体の半数近い 43.4%となり、日本の人口から推定すると、全国で約 5,500 万人となります。

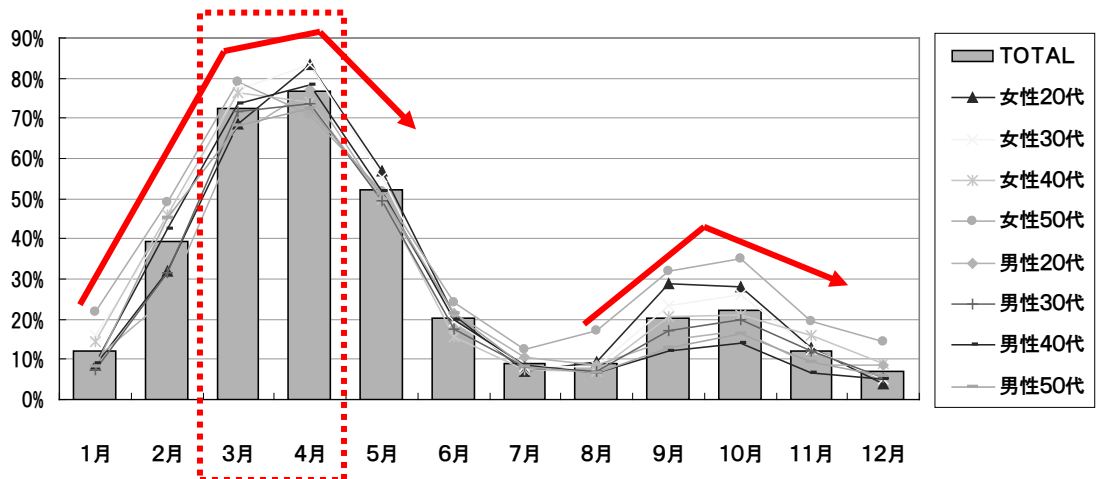
また、実際に「花粉症としての症状がある」という人(=花粉症有症者)は前回の第1回調査から 2.3 ポイント増加の 34.6%となっています。そこで注目なのは、**12.9%の人は「花粉症有症者でありながら、花粉症としての自覚がない」という「隠れ花粉症者」である**ということです。(図①)

■ 図①:花粉症の『自覚』と『実際の症状』の違い



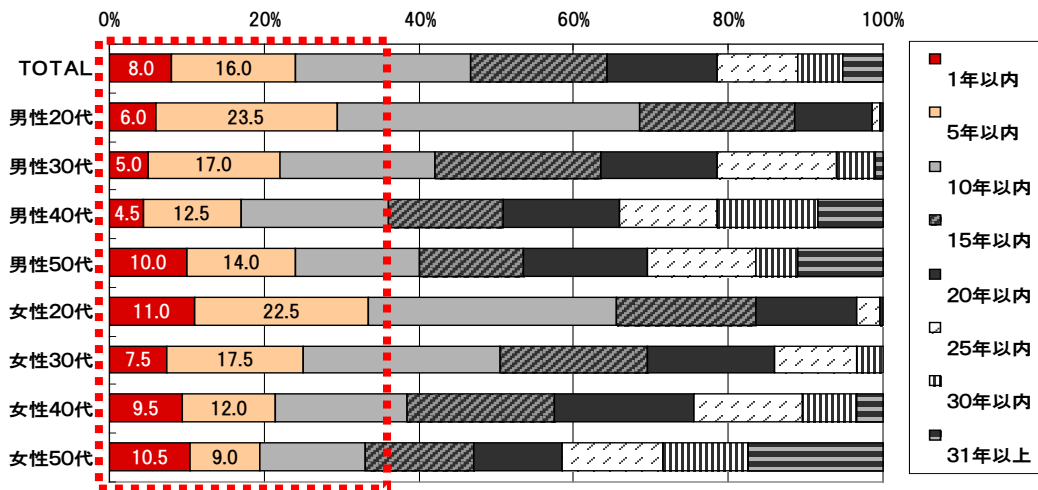
花粉症自覚者の発症時期を見ていくと、「3月・4月」がピークで全対象者の実に70%以上が発症すると回答しており、第2のシーズンが「9月・10月」で約20%となっています。花粉症の方の多くは、症状がピークとなる春をどう乗り切るか、悩ましいところではないでしょうか。(図②)

■ 図②:花粉症自覚症状者の「花粉症発症時期」



花粉症自覚症状者の「花粉症期間」を見ると、どの性年代においても約 20%以上が「5 年以内」と回答。この数年間にも多くの方が発症したとみられます。また、「1 年以内」と回答した「花粉症新人」は全体の 8.0%と前回調査を 0.3 ポイント上回り、推定で 400 万人以上にのぼりました。2012 年もまた、同等規模の「花粉症デビュー」が生まれるかもしれません。(図③)

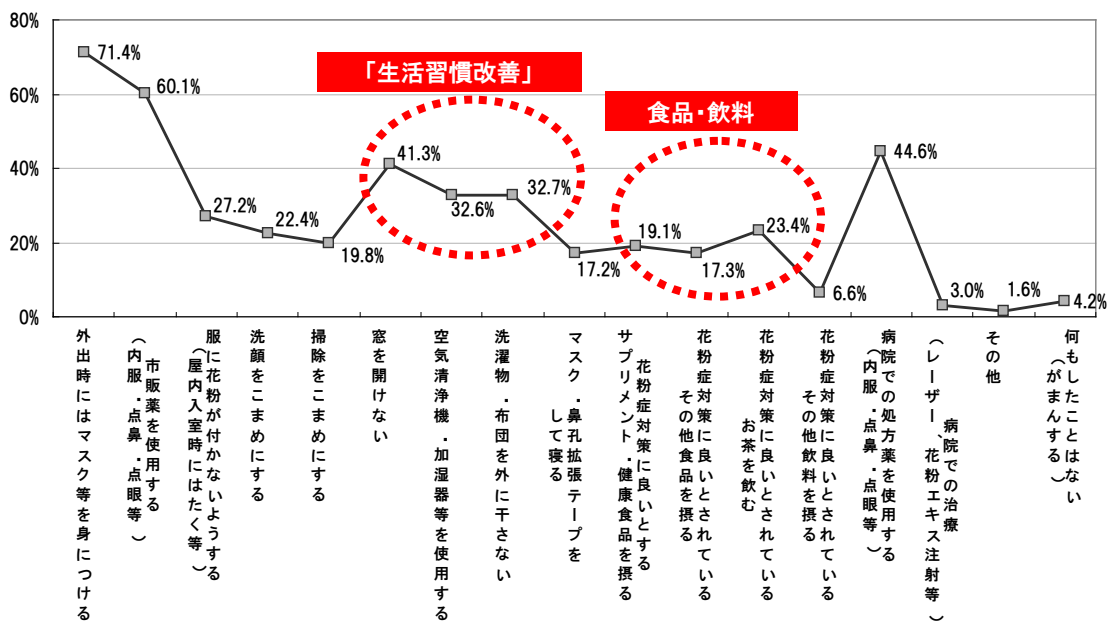
■ 図③：花粉症自覚症状者の「花粉症期間」



2. 進化する花粉症対策—2012 年も引き続き、注目される「空気清浄機」と「お茶・食品」

実際に花粉症自覚症状者が、花粉症に対して行っている対策法の現状と意向を調査しました。これまでに実際に行ったことのある対策としては、最も身近で手軽な対策法であると考えられる、「マスク」や「市販薬」が 60%を超える経験率という結果になりました。また、病院での処方薬も 50%弱と比較的高い支持を得ています。一方で、生活習慣改善や、食品・飲料の摂取などの経験率は約 30%前後とまだまだ低いようです。(図④)

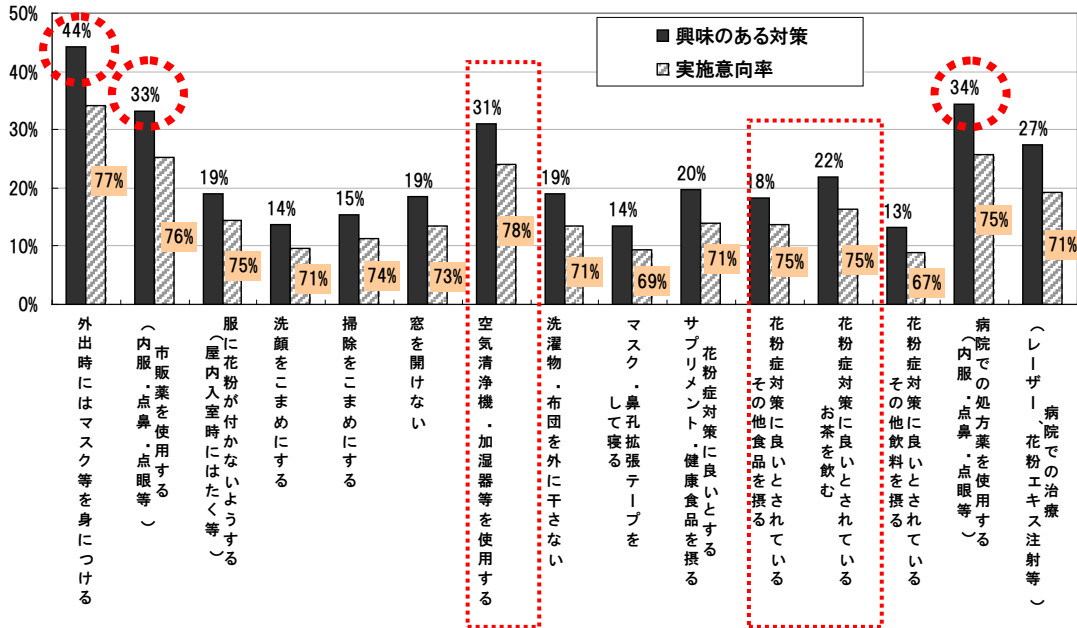
■ 図④：今までに行ったことのある「花粉症対策」



実際の実施経験のある対策法以外で、今後注目の対策についても調査を行いました。(図⑤)  
 興味が強く、その興味がある人の中で「実践してみたい」という実施意向率を合わせて集計すると、  
「空気清浄機・加湿器等」が77.7%、「食品」が74.9%、「お茶」が75.4%と高い結果になりました。  
 またこれらの実施意向率は、前回調査から「空気清浄機・加湿器等」が0.1ポイント、「食品」が2.8ポイント、  
「お茶」が3.1ポイントとそれぞれ上昇しており、実施経験率もまだまだ低いこの3つの対策法が、2012年さ  
 らに注目の花粉症対策法となりそうです。

■ 図⑤:「花粉症対策」への今後実施意向率

●...すでに実施経験の高い項目。

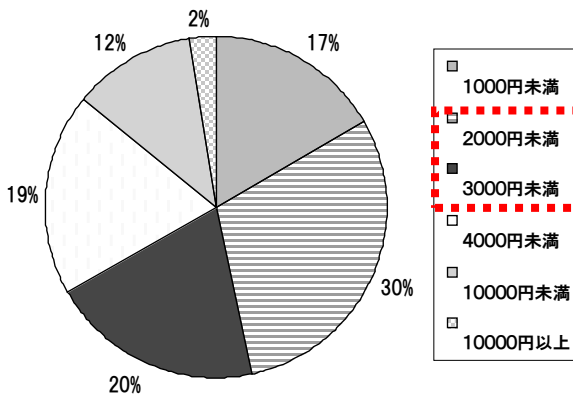


### 3. 花粉症対策の“予算”—症状の重度と対策にかける金額の関係

花粉症自覚症状者で花粉症対策に「お金を掛けている」と回答した人は80%。

また、その金額の1ヶ月平均金額を算出すると、2,308円という結果となりました。(図⑥)

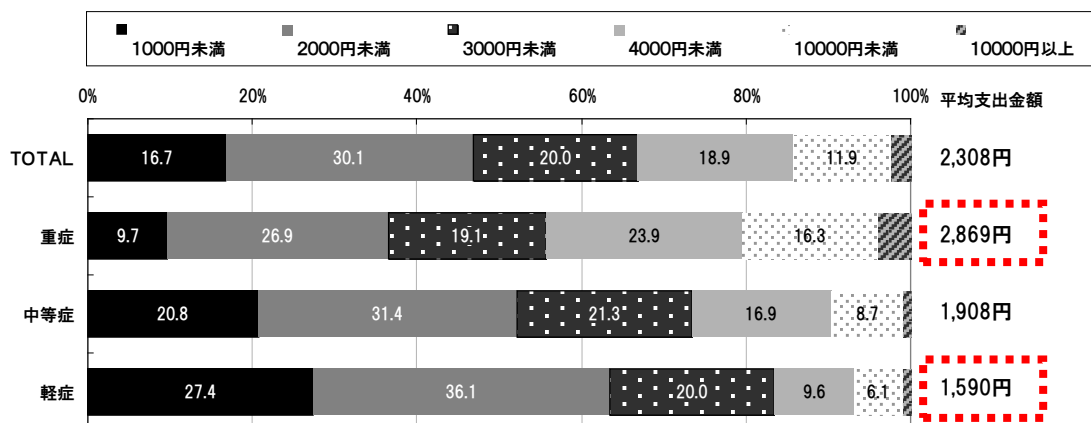
■ 図⑥:「花粉症対策」に使用する金額



⇒1,000円以上3,000円未満がボリューム層となっており、合わせて半数の50%。  
 平均では2,308円/月となりました。

また、花粉症自覚者の自覚症状度別に金額をみると、重症の人ほど支出金額も高くなり平均で 2,869 円と 3,000 円近い支出をしています。一方軽症の人は 1,590 円と、それぞれが自覚している症状の重さによって対策法の中身や金額も変わってくる傾向があるようです。(図⑦)

■ 図⑦:「花粉症対策」に使用する金額と自覚症状の重度との関連性



#### 4. 花粉症対策の“5段階のレベル”ー重症者ほど高レベルな対策

前回・今回と 2 回にわたる調査から、花粉症有症者の花粉症対策法にはある程度試みる順番があり、そのレベルに5段階のステージがあること、そして重症者ほど、より高レベルな対策をとっているが分かりました。(図⑧)

##### ○レベル1 …【コンビニ型】

…外出時のマスクなど、コンビニで手軽に購入できるレベルのアイテムで対策を行うレベル。

##### ○レベル2 …【ドラッグストア型】

…市販薬や目薬、処方薬など、ドラッグストアなど簡易で一般的な薬で対策をし始めるレベル。

##### ○レベル3 …【ホーム型】

…根本的に「花粉」との接触を防ぐなど、家庭内でできる身近な生活改善の対策を始めるレベル。

##### ○レベル4 …【スーパー・通販型】

…スーパーや通販などで、花粉症に良いといわれる食品や飲料を探して購入し、自分の体質改善などを試みる、中長期的な対策を始めるレベル。

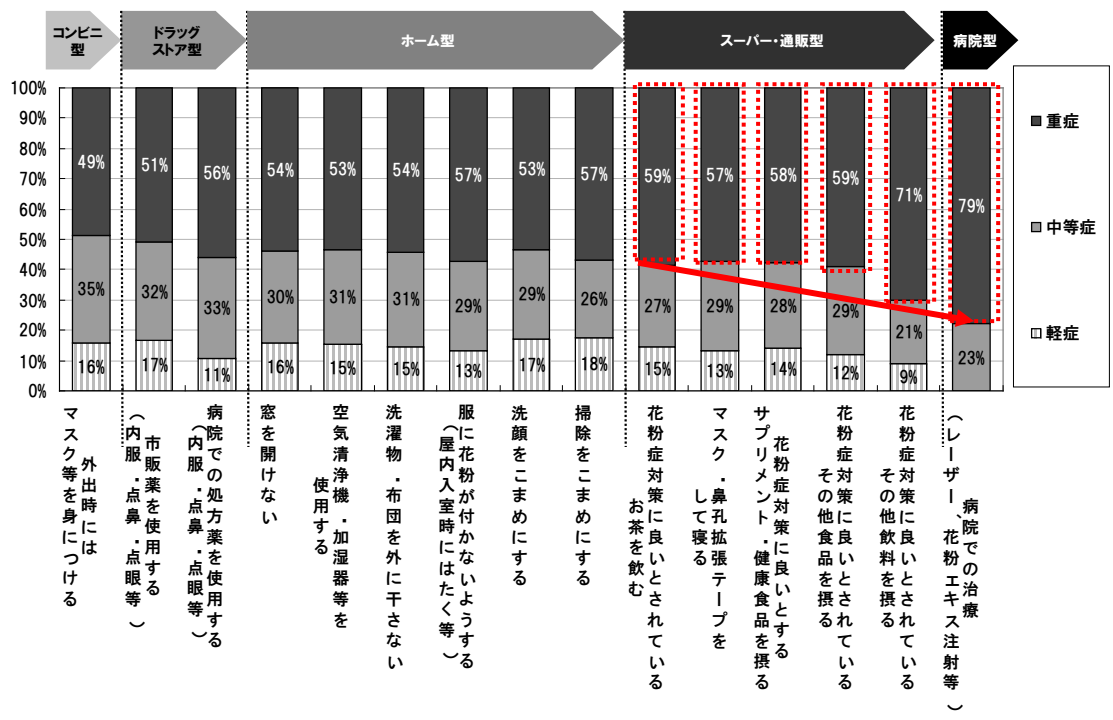
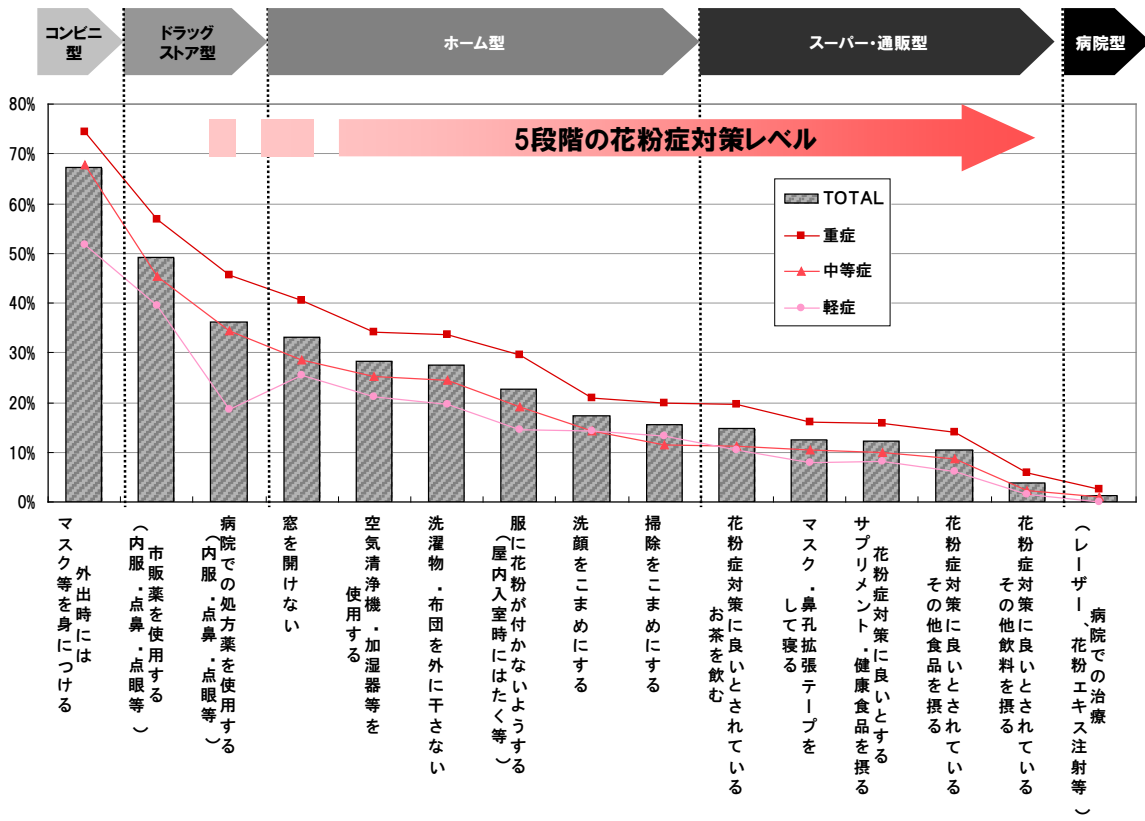
##### ○レベル5 …【病院型】

…その「花粉症」シーズンを乗り切るために、花粉症のシャットアウトを考えた治療を行うレベル。

それぞれの対策をとると回答した人の中で、症状の重さの比率を見ていくと、高レベルな対策ほど重症者の比率が高いことが分かります。(図⑨)

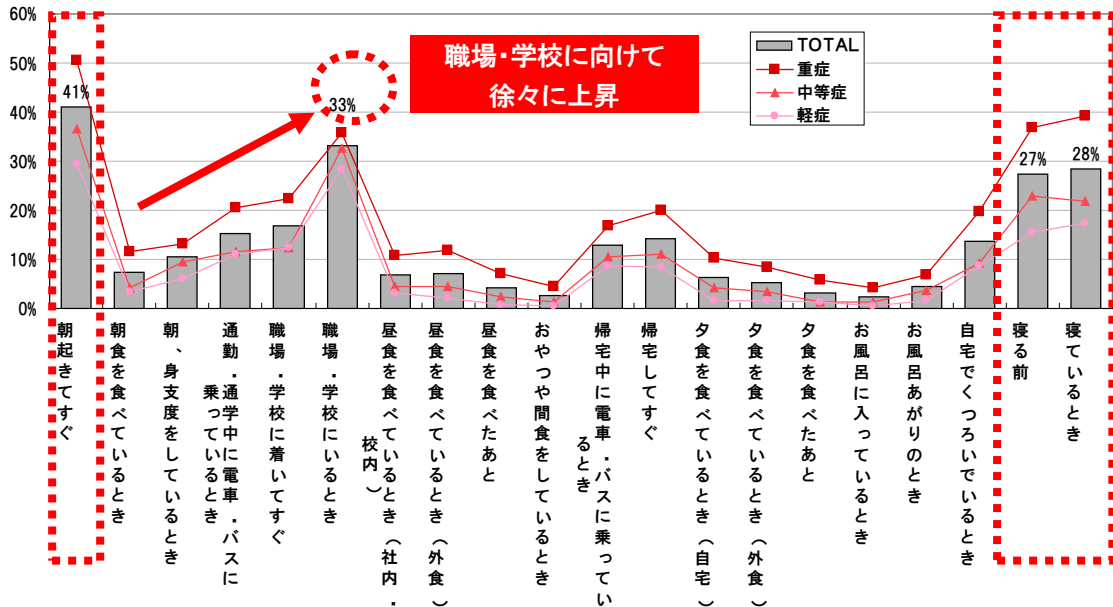
症状が出やすくなる季節には、重症な人はもちろんのこと、軽症な人もより高レベルな対策をとっていくことが必要かもしれません。

■ 図⑧：現在行っている「花粉症対策」



5. 花粉症が辛いシーンは“朝”ー朝イチの“朝快適法”がその日の快適生活を決めるポイント  
 花粉症自覚症状者に「辛いシーン」を聞いたところ、前回調査引きに続き、「朝起きてすぐ」と回答した人が41.0%とトップ。その他にも「寝る前」、「寝ているとき」など、睡眠の前後が比較的高い結果となりました。  
 また、「学校・職場にいるとき」も33.1%と高く、“朝起きてから学校・職場に到着するまで”の朝時間が、その日の快適生活を送るための対策をとるには重要な時間帯であると考えられます。(図⑩)

■ 図⑩:「花粉症」が辛いシーン(1日の行動パターン別)



このように症状を感じやすい朝の時間帯には様々な対策方法がとられていますが、快適な一日のスタートを切るためには、自分に合った「花粉症対策」をおこなう“朝快適法”が大事になりそうです。

■ 図⑫:「花粉症」シーズン中の朝の行動

